

市長への生き生きメール

平成26年3月31日までお送りください。

☎総務課広報広聴係 22-1331

FAX 24-4861



応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)



市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

いろづきて赤うつきし柿の葉を器がわりに
大福を載す 鈴木 茂子
ハギ・ススキながめてわいわい川はらの秋一
霜降に夢見る如くほのぼのと季節はづれの夕
ンボボひらく 菅野ちさよ
自動ドアは夫手作りと言ふ昭和の家ぞア
アイデアに富む 佐藤 啓子
晩秋のさびしき庭の一隅にツワブキの黄が明
るく開く 阿部はぎの
稲架かけのイネのおえる農道を仕事をおえ
て家へと急ぐ 別当内信夫
カナダへと語学留学するという孫に饑餓す老
いの二人が 大庭美智子
人生の最終点を身を置いて乱るころ押さ
えがたしも 荒木喜代子
人と犬落ち葉ふみゆくナラ林秋ぞら深く梢に
風鳴る 後藤今朝雄
晩秋の日差し静けき墓地のなか永代供養碑に
生花供えあり 石田みどり
【評】一首目、考えられるアイデアだが、「大福」
などと詠われると、なかなかおもしろい。
二首目、楽しんでつくられたお作だろう。
明るくてリズムカル、それがいい。オノマト
ペの「わいわい」も効果的。
三首目、やさしい眼差しで捉えて居られ
迎りの温かい感じも伝わる。
※11月号掲載の短歌山田濱氏の作品「亡夫」は
「亡父」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

俳壇

山家 弘子 選

大鷲の舞ふや遊具の空高く 服部 忠孝
シーズン一の児を抱くふたり園小春 岩松 隆志
山直の父に似合いし頬被り 制野 リエ
山風に落ちる胡桃の大きな音 遠藤 忠臣

柳壇

四電 英夫 選

紅葉山逆さに映ずダム湖かな 高子うぶん
会津路の錦秋縫つて江戸の町 大庭美智子
ラ・フランス届き笑顔一杯に 和田 游稀
畦道の草の匂ひや秋の暮 別当内信夫
芒原風の吹くまま右・左 佐藤 孝子
【評】一首目、大鷲は冬に渡つてくる勇猛な鳥
である。公園にあるブランコや滑り台を見て
興味をしめし、ゆっくり舞いながら偵察して
いるのであろう。鷲と遊具のとり合わせが新
鮮。
二首目、シーズン一般には「ぎったんばつ
こん」と呼ばれている遊具。両端にそれぞれ
父と母に抱かれた子が、交互に上になり下に
なるたびに笑顔ははじける。一家団樂の一こ
まが描けた。小春の季節もピッタリ。
三首目、正直でまっすぐな性格な父の頬被
りはクスリと笑いたくなるほど素朴そのま
の顔。心に余裕がないと出来ない句。

見栄を張り財布が悲鳴あげてます 草野 清
方言に昔なつかし閉居裏ばた 阿部はぎの
淋しさに猫とたわむれ秋深し 小室 容子
客寄せの目玉商品十個だけ 斎藤 典子
異次元のサーカス妙技酔いしれぬ 末吉アツ子
ゴミ袋お腹いっぱい消費税 佐久間とみ子
気がつけば八十路越したね笑いあう 大庭美智子
増税で国が栄えて民は泣き 別当内信夫
年金をガブリとかじる消費税 佐藤 啓子
【評】一句目、見栄を張ってブランド品を買っ
たのはいが、支払いに四苦八苦。古来日本
人は見栄っ張り。武士は食わねど高楊枝。
二首目、今、方言が見直されている。朝下
ラじえじえおきたいおらほの言葉。
三首目、「...われ泣きぬれて蟹とたわむる」
の和歌があるが、寂しさをもてあまし猫と戯
れている情景が浮かぶ。

989 0290 白石市大手町1番1号 白石市役所 白石市長 風間 康静 行

料金受取人払 白石郵便局 承認 5 差出有効期間 平成26年3月 31日まで (郵便切手はいりません)

市長への生き生きメール

市では、市民の皆さんから市政へのご意見やご提案をお寄せいただき、市長が直接目を通した上で、これからの市政に生(活)かしたいと考えています。ご意見ご提案をお寄せいただくときには、裏面にご記入の上、切り取り線の通りに切り取り、のり付けして郵送してください。また、ファクシミリでも受け付けれますので、裏面にご記入の上、そのまま送信してください。

のりしろ 切り取り

氏名 住所

のりしろ 切り取り

～「発展」「共生」への思いを川柳に込めて～ 平成25年度「ほのぼの川柳コンクール」の入選作品が決定しました！



1_市長賞を受賞した遠藤行夫さん 2_受賞者の皆さんと審査委員長の四電英夫さん(後列左端)

11月29日、男女共同参画社会づくりに関する「ほのぼの川柳コンクール」の表彰式を市役所で行いました。今回は「発展」「共生」がテーマ。8回目を迎えた今回は、幅広い世代の方々124人から420句の応募がありました。審査の結果、10人の作品が入選。さらに、入選作品の中から遠藤行夫さんの作品が市長賞を受賞しました。入選作品を含む応募作品を、1月14日(火)～31日(金)まで、ふれあいプラザ2階ホールに展示します。

●市長賞作品(敬称略)
『寄り添って 歩く二足の 靴を買う』 遠藤 行夫

●入選作品(敬称略)

『種をまき 共に育む 希望の芽』	山崎 晃平
『助ける手 きずな生みだす まほうの手』	佐藤 茉奈
『四世代 ケンカしながら 支え愛』	大浦 俊輔
『子は宝 未来をつくる 白石市』	佐藤 武美
『共生の 心を繋ぐ 郷土愛』	半田 哲雄
『おがってく まちとわらすこ よござりす』	大槻 息吹
『ありがとう その一言で 変わるから』	木須 玲奈
『なつやすみ おかあさんにも あげたいな』	宍戸 柚希
『ほのほのと 生きる未来を 夢見てる』	半澤 新太